事業所名　このこのリーフ亀戸第2

支援プログラム

作成日　2024 年　4 月　1 日

法人（事業所）理念	可能性を探求し続けよう		
支援方針	・子どもの興味を尊重し、子どもたちの良いところ、得意なことを見つけ、個別に活動を提案し、子どもたちの挑戦を促し、成功体験を積み重ねる環境を作ります。 ・自己表現の機会を提供し、創造性を育むプログラムを実施し、継続的なフィードバックとサポートによって成長を支援します。 ・家族との連携を強化し、包括的な支援を提供する中でスモールステップで、お子さん一人一人の自立に向けてサポートしていきます。		
営業時間	平　日 13時00分　から　17時30分まで 学校休業日 10時00分　から　18時00分まで	送迎実施の有無	あり ※送迎対象校や送迎対象エリアによる制限あり

		支 援 内 容
本人支援	健康・生活	日常生活動作（スキル）について、スモールステップ、繰り返しの支援で身辺自立を促します。 ・生活訓練：食事、排泄、衣類の着脱など、 ・アート療法：皮膚の感覚を知る事で、苦手な事へのアプローチ方法を知り、微細運動を通し、食事や机上での道具の使い方に繋げていきます。 ・ダンス：身体の使い方を知る事で、座位姿勢を保てるようにし、日々の生活での動作を身につけていきます。 ・粗大運動：体操での模倣、筋力トレーニングやバランスボールなどの活動を通して体幹を鍛えていきます。
	運動・感覚	身体を存分に動かし、身体（感覚）運動の発達に取り組みます。 ・生活訓練：生活習慣動作の獲得を目指し、体幹、筋力トレーニングにてアプローチを行っていきます。 ・アート療法：制作を通し、微細運動、皮膚の感覚を促していきます。 ・ダンス：ダンスを通し動きの模倣、ボディイメージやボディコントロール力へのアプローチを行っていきます。 ・粗大運動：体操、ストレッチ、筋力トレーニングを通して、姿勢保持や動作の改善、習得を促していきます。
	認知・行動	概念形成・獲得、個別・小集団を通じた認知発達支援に取り組みます。 ・生活訓練：生活に必要な道具の使用方法を特性に合わせ知らせていきます。 ・アート療法：児童に合わせ、視覚、触覚を楽しめるよう、材料の提供に工夫をし、お絵描きや物作りを進め、空間認知へのアプローチも行っていきます。 ・ダンス：振り付けの模倣やリズムトレーニングを通し、ボディイメージへのアプローチを行います。 ・粗大運動：運動の中での道具の使用方法や粗大ゲームを通してのルール理解を深められるよう促していきます。
	言語 コミュニケーション	要求、報告、聴く、模倣、観察など自分も周りの人も大切にするコミュニケーションを学びます。 ・生活訓練：一斉指示、個別での指示や併せて、指差し等のジェスチャーや絵カードを使用し、児童に合わせてスモールステップで言語理解を深めます。 ・アート療法：他児者とのコミュニケーションを円滑に図れるよう促していきます。 ・ダンス/粗大運動：言語やジェスチャーで知らせながら、出来た事、依頼したい事を相手に伝えられるスキルを身に付けられるよう促していきます。
	人間関係 社会性	順番、交代、役割、ルール、指示に沿った行動を取るなど、社会に適応するために必要なスキル獲得を支援します。 また、自己の行動や感情に気付いたり、対処法を考えるなど気持ちのコントロールやストレスの発散方法などを考えます。 ・生活訓練：課題の中で、得意な事や苦手な事を把握し、状況に応じた行動が出来るよう環境調整をしながら練習していきます。 また、難しいと感じた際には適切に気持ちの表現ができるよう、練習していきます。 ・アート療法：音楽や制作を通し、相互理解や互いの存在を・認め合い、仲間作りができるような環境を作っていきます。 ・ダンス/粗大運動：集団の中でダンスや運動をする際に、他児へ関心を向け、認め合い、共に活動する事への意識が向くよう環境を作っていきます。

家族支援	・保護者面談（適宜） ・お便りの定期発行 ・その他関係機関との連携	移行支援	・進学先・就労先、施設との情報共有 ・認知の発達に合わせて、社会生活力プログラムに取り組みます。
地域支援・地域連携	・各関係各所との連携（相談支援事業所、学校、児童発達相談所など） ・児童通所連絡会への参加	職員の質の向上	・内部研修 ・外部研修 ・資格取得支援
主な行事等	季節行事：季節にちなんだ活動などイベント行事を定期的に実施しています。（夏祭り、クリスマス会、野外体験など） 外出活動：公園遊びの他、遠足や地域施設などの社会資源の活用 園芸活動：季節の収穫体験（芋ほり・夏野菜など）		